

# 鈴鹿山脈・鎌ヶ岳

## 鎌尾根を歩く

2020年11月23日

L：服部文鳥・磯部N(記)・カワセミ・原田・丸山

去年も、同じ季節に歩いて、気持ちの良かった鈴鹿の鎌尾根を、もう一度歩きに出かけた。鎌ヶ岳は人気の山なので、いろんなコース開かれているが、鎌尾根は岩稜もあるし、時間もかかるので比較的人も少なく、静かに歩ける。

宮妻峡の駐車場から、歩き出す。天気は晴れの予報だったが、登山口までの林道の途中から小雨が降り出す。

続く。水沢峠まで、3度ほど涸れ沢を横切っていくコースだ。



水沢峠への登山口



峠直下の急登

峠からはヤセ尾根の急登やら、花崗岩のザレ場やら、変化があり、なかなか面白い。



落葉の登山道

良く整備されて、道標も多い登山道が



ザレ場

水沢岳での展望を楽しみにしていたがあいにく、滋賀県側はガスの中、三重県側は時折、ガスが切れて伊勢湾まで見え

た。



水沢岳（すいざわだけ）



雲母峰（きららみね）と伊勢湾  
水沢岳を過ぎるときのこ岩の横にザレ  
の急下降が待っている。



見た目より高度感がある  
ちょっとスリル感のある下降箇所であ  
りをつけて下りた。その後もフィックス  
ロープのある岩稜の上り、下りが数カ所  
あるので、新人さんに声を掛けながらゆ

くり進む。



挑戦中



ガレの淵を歩く登山道  
岳（だけ）峠までに地図上に危険のマ  
ークがつく箇所が、2、3箇所ある。



岳峠からの急登  
この峠でいろいろなコースが合流する  
ので、ここからぐっと登山者が増える。  
道は一挙に傾斜をまして、頂上まで岩混じ

りの急な登りが続く。最後の踏ん張りどころだ。



山頂標と右に伊勢湾  
大勢の登山者で賑わう山頂にようやく着いた。

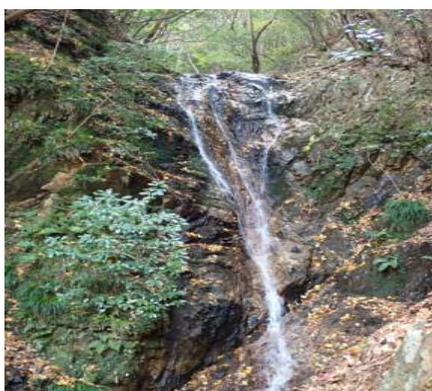
イマイチの天候にもかかわらず、やはり次々と登山者が登ってくる。

風を避けて、温かいお汁粉を食べて一息つく。

雨はひどくならず止んだ。

下山は、カズラ谷コースを取る。

だらだらと下る、歩きやすいコースで、途中に滝もある。



滝の下部で三度の渡渉を繰り返して、

無事に林道へ出た。



林道との合流点

紅葉には遅かったが、秋の1日、変化のある楽しい登山道を歩いて満足の山行だった。

新人さんにも、いろいろな経験ができるお薦めのコースだ。

宮妻峡駐車場(7:05)-登山口(7:55)-水沢峠(9:00)-水沢岳(9:30)-岳峠(11:25)-鎌ヶ岳(11:40)-滝(14:25)-林道と合流(14:35)-駐車場(14:50)